

市政に対する

一般質問

一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をたずねることができるものです。6月定例会では、6月15日・16日・19日の本会議で16人の議員から質問が行われ、論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です（掲載は質問順、5ページまで続きます）。



災害時に情報を一元化する電子地図を導入しないか

公明党 井上 賢二

●安全安心のまちづくりについて

Q 災害時に情報を一元化し、視覚的に把握できる電子地図を導入してはどうか。

A 各部署が紙媒体の地図などで管理する情報を統合、電子化し、一元的に管理する統合型GISシステムの導入を進める。さらに、防災マップなどの入力可能な情報を追加し、活用していきたい。

Q 小・中学校の防火シャッターへの安全対策は。

A 装置の誤作動を防ぐため、毎年、動作確認を実施している。大規模工事や消防点検時に不具合が指摘された際は、危害防止装置対応のシャッターへ改修していく。



7月22日、「ふれあい探検ウォークラリー大会」が開催されました

●高齢者福祉について

Q 認知症の早期発見、早期治療へとつなげるためには理解を深める効果的なPRが重要だと思うが、市の考えは。

A 現在、さまざまなPRを実施しているが、より効果的な方法など、先進的な自治体を研究していきたい。

Q 高齢者のちよっとした困りごとに対して、市が積極的に対応できないか。

A 簡単な家事援助の相談などは、社会福祉協議会やシルバー人材センターを紹介しているが、担い手不足が課題となっている。社会参加促進事業を通じて、地域の新たな担い手や高齢者の活躍の場の発掘に取り組んでいきたい。



交通渋滞する光綾公園西側の交差点を拡幅しないか

あやせ未来会議 増田淳一郎



市公式マスコットキャラクター「あやびい」

●交通関係全般について

Q 光綾公園西側の交差点は、時間帯による交通渋滞の発生に加え、寺尾小学校方面への大型貨物車の左折が困難である。長峰の森を一部買収し、道路を拡幅できないか。

A 平成24年度の市道12号線拡幅整備の際、大和警察署との協議の中で大型車の軌跡を描き、交差点形状を定めたため、現段階では拡幅の予定はない。今後、市総合都市交通計画にある都市計画道路の3路線が供用開始となれば、交通が分散され、交差点の負荷が軽減されると考えている。

Q 寺尾小学校に隣接した市道2号線の急カーブは、幅員が狭く、大型貨物車通過の際、事故を起こす可能性がある。比留川にふたをし、一部だけでも道路を拡幅できないか。

A 平成28年度に大和警察署と協議し、現在の交差点部分を、安全性を高める目的でコンパクト化した形状としていたため、現段階では道路の拡幅は考えていない。今後、道路の利用状況を注視しながら必要に応じて対応したい。

●光綾公園の再整備について

Q 市内の公園で最も歴史ある光綾公園の再整備では、園内に3カ所ある盛り土の山を撤去する検討はしているか。

A 平成29年度から実施する、光綾公園の再整備に伴う基本計画の中で、盛土の山を撤去する検討もしていく。



国が新たに示した地域共生社会の実現を目指さないか

あやせ未来会議 安藤多恵子

●「我が事・丸ごと」地域共生社会に向けて

Q 国は、これまでの高齢者を中心とした地域包括ケアシステムから全世代を対象とする「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現のため、本部を設置した。縦割りでない地域共生社会構築のため、横の関係で連携する場づくりが必要と思うが、そのための支援を行っていくべきではないか。

A 地域共生社会を構築するためには、自分たちの暮らし地域を良くしたいという意識を持ち、市民が主体となって地域課題を考えるような場が必要だと考えており、行政として支援の在り方を検討していきたい。

●綾瀬の緑を大切に育てるために

Q 市緑の基本計画により緑の創出、保全、育成の推進が進められているが、進捗状況はどうか。

A 平成23年に基本計画を改定し、綾瀬スポーツ公園などの公園や緑地の整備を行い、公園・緑地の総面積が約5%増え、新たな市民の触れ合いの場の確保ができた。

Q 城山公園などの大規模な公園にある樹木の管理方法に問題があると思うが、発注の仕様などの状況は。

A 樹木管理は、年間を通じて造園業者に管理委託しているが、公園により樹木の状況が異なるため、業者と調整し、必要な管理をしている。



6月26日、土棚小学校の児童が議場の見学にきました

